

光る泥だんご

山形市少年自然の家

- 活動概要** 自然の家の周りにある粘土の土を使って、泥だんごを作ることができます。だんごにして乾かしながら表面を磨いていくと、4日から5日でピカピカに光る泥だんごを作ることができます。
- 活動場所** 野外
- 所要時間** 一週間くらい：自然の家では土台を作って持って帰るだけです。
あとは、家にもどって磨きをかけましょう。
- 準備** 《自然の家》 粘土の土(各自で採取)・水・スコップ
《各自》 泥だんごをのせる布(柔らかいもの)・泥だんごを磨く布(ジャージ、タイツ生地でザラツとしたもの)ビニール袋(乾燥を防ぐために使う)・箱や牛乳パックなど(保存用)
★粘土の採取場所、活動人数、内容など 詳細は自然の家職員にご相談ください。
- 活動内容** *** 粘土の土を採取して、光る泥だんご作りに挑戦してみよう ***

(1) 土台を作る

①



土と水を混ぜてドロドロのどろんこを作る

②



ギュッギュッとにぎりしめ、泥水がなくなるまでにぎって固める

③



少ししめった土をまぶしながら、できるだけまん丸にする。

*** (1) までは自然の家での活動↑↑ (2) からは持ち帰って各自で行う↓↓***

(2) まんまるをつくる

①



乾いた土をふりかけて、手のひらの上で転がしたり、壊さないように気をつけて両手でにぎったり、指でなぞったりする。

②



泥だんごのいろんなところに土をかけながら①をくり返し、でこぼこがないよう、まん丸にする。

③



強くこすらず・・・
やさしく
まんまるに・・・

(3) 休ませる

泥だんごを柔らかい布の上にのせて、日陰におく。(5～30分位)
＊泥だんごの大きさや天気によって休ませる時間は違う。



(4) 表面をきれいにする

表面が少しかたくなって、つるんとしてくるまで(2)をくり返す。



(5) さら粉をつける

①



泥だんごを手の中でコロコロとまわしながらさら粉をこすりつけていく。

②



①をくり返しやると、だんだんツルツルになってくる。

③



地面を手のひらでこすったり、なでたりすると、手のひらに白っぽい粉がついてくる。

(6) みがく

①



めが細かく、ざらっとした布で表面をやさしくこするようにしてみがく。

②



すると・・・ひかりはじめる。



途中でやめる時は、ビニール袋に入れ、箱や牛乳パックの中に置いておくと大丈夫。

< 光る泥だんご作成工程 >

①



工程①

まんまるの土台完成！！
ざらざらデコボコ。

②



工程②

まだまだ ざらざら・・・

③



工程③

ツルツルになってきた！

④



工程④

完成！！
☆ツルツル ピカピカ☆

6. 実施上の留意点

- ・自然を破壊しないため、必要以上に粘土を採取しません。
- ・作業後は用具の点検をし、元の状態に戻して返納します。
- ・事前に指導者が試作するとよいでしょう。